

学生提案成果報告①

宇都宮スマートライポータル ～生活の利便性を向上させる情報活用基盤～
提案団体名：宇都宮共和国3年高丸ゼミ
メンバー：◎北條智也、田島龍青、川上紗季、小倉健斗、小川真極、 菊地諒、久米田真依、三品裕基、石塚香澄
指導教員：高丸 圭一

まちづくり提案2021

宇都宮スマートライポータル

～生活の利便性を向上させる 情報活用基盤～

宇都宮共和国3年高丸ゼミ

◎北條智也、田島龍青、川上紗季、小倉健斗、小川真極、
菊地諒、久米田真依、三品裕基、石塚香澄

【提案の要旨】

私たち3年高丸ゼミでは2021年の5月と7月に、市の行政経営部の方から宇都宮市の情報化推進施策についてお話を伺った。宇都宮市では「I 市民生活に身近な分野のデジタルサービスの拡充」「II 地域社会の活性化促進に向けたICT利活用の促進」「III 情報通信環境の充実」「IV 行政運営の効率化、高度化に向けた行政のデジタル化」の4つの基本方針で情報化推進の施策を進めていることが分かった。ゼミでは、このうち基本方針I・II・IVに着目した議論を進めていく中で、宇都宮市がスマートシティを実現していくためには、データの利活用をより高度に進めていくことが重要であると考えた。

あらゆる情報を一元化して取り扱い、情報のやりとりやあらゆる手続きが、1カ所に集約されたオンラインの窓口で実現できないか、ICTやAI技術を活用して「人と情報」「人と行政」「人と人」「人と仕事」をオンラインで結びつけ、暮らしやすい宇都宮を実現できないかといった、観点から先行事例や最新技術・最新サービスの調査を行った。

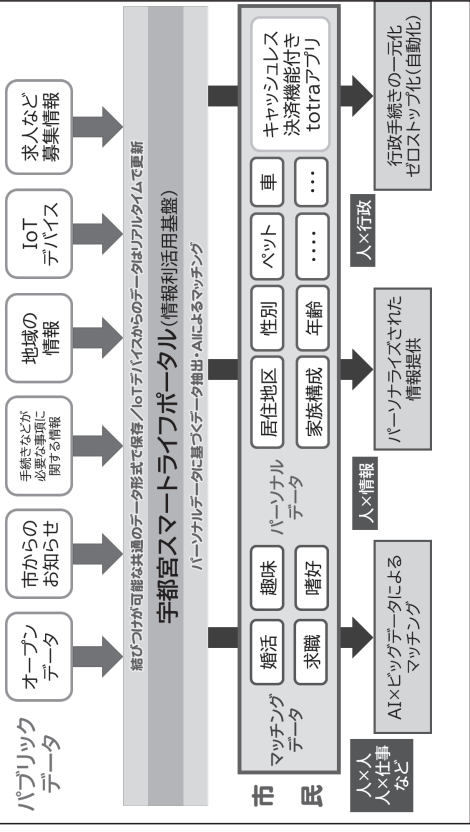
本提案では、市民に有用なあらゆる情報やサービスの提供機能を集約した情報活用基盤提供プラットフォーム「宇都宮スマートライポータル」を提案する。

バラバラな形式で別々に公開されている様々な「デジタルデータ」

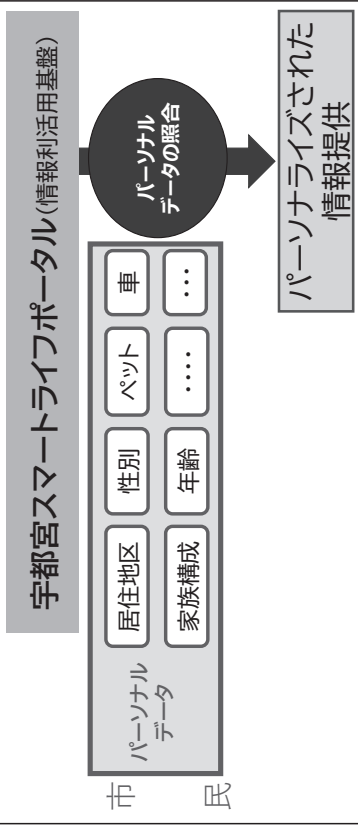
情報を見つけているのが大変
見落としていても気づけない

データを結びつけると
新たな価値を創造できるかも

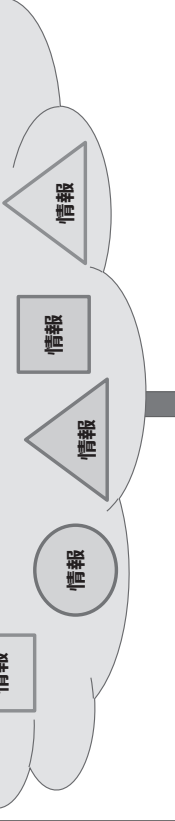
宇都宮スマートライポータル全体の全体像



人と情報の結びつけ



バラバラな形式で別々に公開されている様々な「デジタルデータ」



市民に有用なあらゆる情報やサービスの提供機能を集約

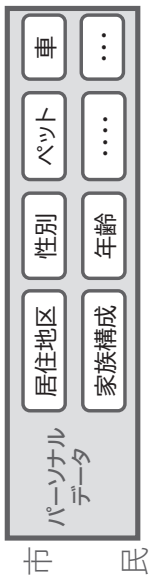


本提案の4つのポイント

- **情報利活用基盤を構築**
(人と情報を結びつけるプラットフォーム)
- **IoTを活用したリアルタイムデータの収集**
(実環境の情報を提供)
- **パーソナライズされた情報提供の実現**
(人と人・人と仕事を結びつけて暮らしを豊かに)
- **行政手続き「ゼロストップ」のスマートシティ**
(人と行政の高度な結びつけを目指す)

人と情報の結びつけ【具体例】

宇都宮スマートライフポータル(情報利活用基盤)



パーソナルデータ

パット: 犬1頭

照合

狂犬病予防接種について
(市の広報データ)

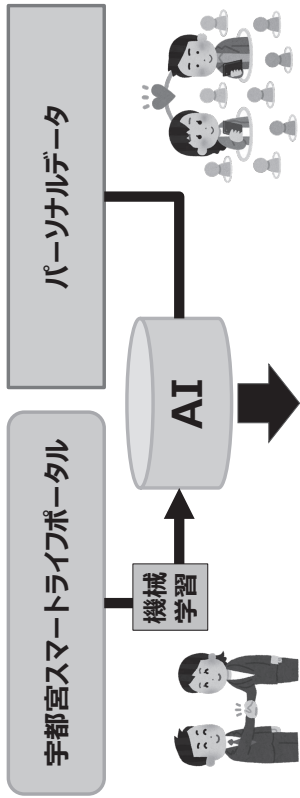
住所: ●町●丁目

照合

最寄りの予防接種会場
(オープンデータ: 公共施設の位置情報)

接種会場の混雑具合
(IoTセンサー: 人流データ)

人と人・人と仕事の結び付け

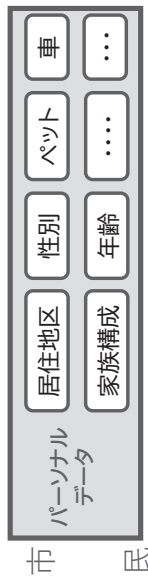


最適な市民同士の交流(婚活、仲間づくり)を実現
最適な労働環境・雇用環境を実現

豊かで住みやすい魅力あるまち

人と情報の結びつけ【具体例】

宇都宮スマートライフポータル(情報利活用基盤)



パーソナルデータ

ペット
情報利活用基盤に集約された
(市の広報データ)

住所: ●町●丁目

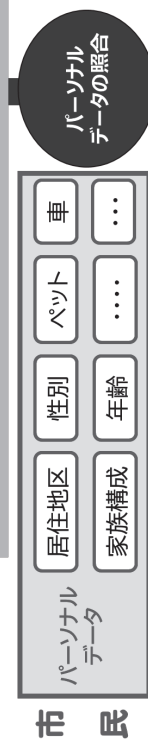
接種会場の混雑具合
(オープンデータ: 公共施設の位置情報)

適切な情報提供を行うことができる。

(IoTセンサー: 人流データ)

人と行政の結びつけ

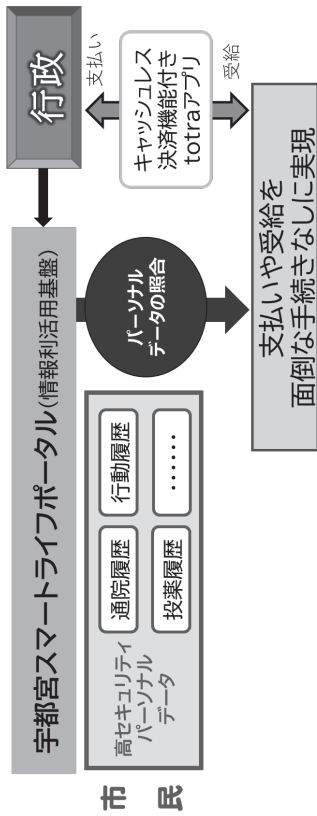
宇都宮スマートライフポータル(情報利活用基盤)



手続き・申請に関する
お知らせを通知

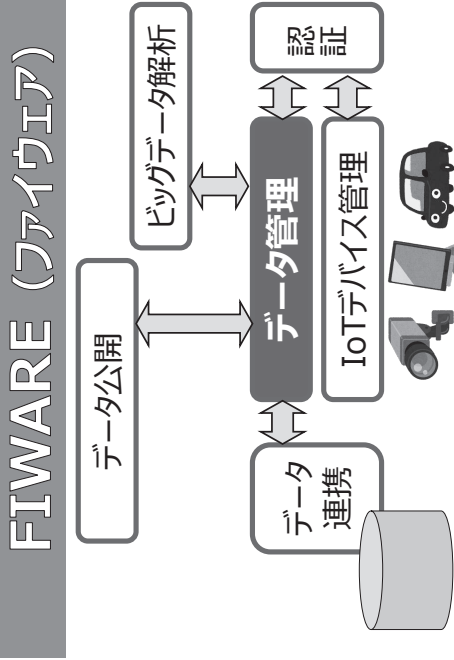
人×情報の仕組みを活用して
必要な情報を漏れなく適切に届ける

人と行政の未来



高セキュリティのパーソナルデータ管理技術と
キャッシュレス地域ウォレット技術を組み合わせて、
ゼロストップの行政サービスを実現する

情報利活用基盤を実現するための オープンソースの技術



高度なデータ利活用による 暮らしやすいまちを実現！

